

事務事業名		芸術文化活動支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	11 生涯学習の推進		区分		会計	款
	基本事業名	03 学習活動の促進		単年度繰返		01	02
根拠法令		芸術文化事業開催支援補助金交付要綱		※期間欄に開始年度を記入		01	01
所属	部課名	協働まちづくり部市民文化会館		【開始年度】		13	0100
	課長名	平野 辰雄		-			
	係名	芸術文化係	電話	0192-26-4478			
	担当者	木村 亮	内線	450			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
市民の芸術文化活動を支援する事業であり、大船渡市民芸術祭実行委員会に補助金を交付するもの。				総投入量(千円)			
				事業費		国庫支出金	
				財源内訳		都道府県支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
				事業費計(A)		0	
				人件費		正規職員従事人数	
						延べ業務時間	
						人件費計(B)	
						トータルコスト(A)+(B)	
						0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
市民芸術祭実行委員会への補助金の交付。		ア	市民芸術祭事業数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民芸術祭実行委員会		名称	
		カ	市民芸術祭実行委員数
		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑に事業を運営してもらう。		名称	
		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	市補助金額
芸術文化活動が活発になる。		シ	市民芸術祭参観者数
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
		単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	862	1,052	1,000	
	事業費計(A)		千円	0	862	1,052	1,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	6	6	
		延べ業務時間	時間	200	600	872	810	
人件費計(B)		千円	800	2,400	3,488	3,240	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	800	3,262	4,540	4,240	0	
⑤活動指標		ア	事業	-	12	17	20	-
		イ						
		ウ						
⑥対象指標		カ	人	32	33	32	32	-
		キ						
		ク						
⑦成果指標		サ	千円	-	862	1,052	1,000	-
		シ	人	-	2,846	4,686	6,000	-
		ス						

事務事業ID	0856	事務事業名	芸術文化活動支援事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
活動成果を発表・展示する機会を提供し、市民の芸術文化創造活動を奨励・支援するため。昭和30年度開始。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
大船渡市芸術文化振興事業推進委員会及び市民創作活動等助成事業は、ふるさと創生事業が終了していることから、平成27年度末をもって廃止し、現在は市民芸術祭の開催事業費の助成のみとなっている。平成29年度より大船渡市芸術文化協会の事務局を移管し、社会教育指導員が不要となったため現在は正職員のみに対応となっている。文化施設として各種設備が整っていることや、スポーツ活動に支障をきたす等の理由から、令和3年度より、総合美術展の会場を市民体育館から市民文化会館・リアスホールに変更した。令和4年度から芸術文化係が生涯学習課から市民文化会館に移管となり、当事業の担当課が市民文化会館となった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
出演者・出品者数、参観者数が減少し、特に若者世代の参加が少ない。若者の参加、参観を増やす方法を検討すべきとの意見がある。コロナ禍により事業が開催できなかった時期があり、創作意欲の減退が見受けられたが、令和3年度から少しずつ市民芸術祭が再開され、喜びとともに改めて成果発表の場が大切であるとの声が聞かれた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？ 芸術文化活動を支援することは、豊かな心を育む人づくりの推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 芸術文化の全体的な均衡ある発展のために、市が活動成果を発表・展示する機会を提供し、創作活動を奨励・支援することから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象が市民の芸術文化の向上を図ることを目的とした事業実施者であることから、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 芸術文化活動に市民が関心を持つよう周知を行うとともに、市の芸術文化団体の活動紹介等も行いながら、出演者数、出品数、参観者数の増加につなげるよう取り組む。複数部門による合同開催に取り組むなど、参加団体の経費の縮減や効果的な事業運営に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 活動成果を発表・展示する全市規模での機会であることから、事業を廃止した場合は、芸術文化の振興に影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は部門への開催費用の一部補助であり、削減余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 大船渡市芸術文化協会の事務局を移管したため、社会教育指導員の配置を廃止し、総合美術展開催時等以外は、2名の職員で関係団体との連絡調整等を行っており、これ以上の削減余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民芸術祭の発表・展示に係る費用にあてるため、各部門では入場料や参加料を徴収しており、公正・公平である。市では、費用の一部を補助している。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																				
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持	●		×	低下		×	×	参加者が固定化の傾向にあることから、市民芸術祭への非加盟サークル等新たな参加団体・人材の掘り起こしに努めるとともに、若年層が興味を抱くよう、周知や参加方法等について、SNS等を活用した情報発信を検討する。 芸術文化活動以外にもイベントの多い時期であり、会場の確保が難しい状況であるが、複数部門の合同開催を模索する等、参集しやすい状況を生み出すように努める。 令和6年度から、指定管理者制度に移行し、より効果的な開催・運営を図る。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持	●		×																			
低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	市芸術文化協会に加盟していない団体・グループ・個人の市民芸術祭等への参加を促すため、作品の一般募集を行うなど、参加しやすい方策を検討する。 各団体の独自の展示会等と市民芸術祭を統合する等、開催しやすい方策も検討する。 併せて、各団体で講座等を行い、新たな参加者の発掘に努める等しながら、若者世代等が芸術文化事業へ参加しやすい取組を増やしていく必要がある。